

## 個人山行記録 大杉溪谷（堂倉滝折り返し）

平成30年 4月28日（土）～29日（日）

天候：両日とも晴れ

メンバー：KO、KF、FM、SH、TI（記録）

コースタイム：28日 金山駅6:30→大杉谷登山口10:20着 10:30発～京良谷～千尋滝12:30/12:35～シシ淵13:18/13:35～平等峠～桃の木山の家14:27着

29日 桃の木山の家発5:58～七ツ釜6:20/6:24～堂倉滝7:55/8:10～桃の木山の家10:10/10:20～平等峠～シシ淵11:10/11:20～千尋滝12:05～大杉谷登山口14:00着  
下山後奥伊勢フォレストピア温泉入浴後 金山駅19:00到着

4月28～29日リーダーKOさん他4人が大杉溪谷に行ってきました。通常、堂倉滝から日出ヶ岳を登り大台ヶ原ビジターセンターに抜けますが、今回常連のKFさんさえも初めての堂倉滝から大杉谷登山口へのピストン山行でした。

初日、心配された大渋滞は、予期せぬ木曾川橋上で追い越し車線におかまし大破した軽自動車があり（何故かおかまされた車は見当たらない）渋滞しましたが、鈴鹿IC付近は思った程なく、多少路に迷いつつも10時20分頃駐車場に到着しました。

10分程度で身支度を終え出発。この日の8割方は左側が落ちたコースを歩きました、大杉谷では珍しく両日とも天気恵まれ、参加者皆さんの日頃の行いそのものです。また、木々によっても違う新緑の色彩に眼も癒やされました。

日中気温が上昇しましたが、時折河下からの風

がとても心地よく感じました。所々薄い色の天然の藤やシャクナゲが登山道上に咲き誇り立ち止まりました。

今回初めての小生は、千尋滝やシシ淵の景観に感激しながら4時間弱で宿泊する「桃の木山の家」に到着。早速700円のロング缶のビールで祝杯。皆、「旨い」とこの一時を楽しみました。その後も共同装備としてSHさんに背負ってもらった黒霧島900ml×2本を嗜み、消灯時間前に就寝。

翌朝、恥ずかしながら小生は時計が無いと皆さんに御迷惑お掛けしましたが、朝6時前に出発。当日は8時間の歩行となり、また、いつもの歩幅で歩けないところが多いので、年に一人二人ある滑落死にならないようゆっくり歩

きました。七ツ釜滝、崩壊地そして最終目的地堂倉滝に到着です。途中、崩壊地では人間の無力さを教えられ、また、河全面がエメラルドグリーン一色に目を奪われ所々足が止まりました。吊り橋

では、橋中間あたりからの揺れが恐怖となり足がすくみました。堂倉滝ではアマゴ釣りをしている人が滝上に移動するとのこと驚きを禁じ得ませんでした。

そこからはひたすら登山口まで戻ることになり、下るので楽かと思えば、疲れも有ったのか、逆に上ったと思うくらい辛い帰り道となりました。でも、二日間を通しメンバーと天気に恵まれ、3大溪谷の一つを満喫できました。（KFさんからチャルメラ草も教えていただきました。）

